

知ろう! 仏教讃歌

(8)

福本 康之

《お名前よべば》

詞・大谷範子前裏方さま
曲・高木了慧

と宗祖のお名前が繰り返し歌われるこの作品は、作曲者高木了慧さんによる親しみやすい旋律と軽快なリズムもあってか、単に覚えやすいだけではなく、メロディーがふと口をついて出てくるようです。

教婦人会という枠組みを超えて、若い世代にも確実に、家族の思い出とともに親鸞聖人のお名前が刻まれているようです。核家族化が進み、家族そろって口ずさめるメロディーが失われ、子どもたちがお寺へお参りする機会も減りつつある昨今です。仏教讃歌の耳なじみの良いメロディーに載せた歌詞を通して、宗祖のお名前が次の世代に刻まれるように、仏法に出遇う機会は他にもいろいろありそうです。

(本願寺派総合研究所 仏教音楽・儀礼研究室長)

メロディーに乗せ繰り返す宗祖のお名前

らんさま」と歌っていたというエピソードもあります。仏

かつてはその時代に、家族そろって歌うことのできたメロディーがいくつもあったものです。音楽は、人生のさまざまな記憶とともに刻まれ、多くの人が「〇〇という曲を聞けば、流れた頃の家族の思い出がよみがえる」という経験をお持ちでしょう。

仏教讃歌の場合、家族そろってとはいかないまでも、幼い頃、家族に連れられお参りしたお寺で一緒に口ずさんだ、という方も少なくないでしょう。その方

が年を重ね、お子さんやお孫さんを連れて参拝するようになると、一緒に歌う喜びと同時に、歌い継がれた仏教讃歌に再び触れることで、幼いころの記憶が懐かしく思い出されるはず。

2010年、世界仏教婦人会大会開催を記念して仏教婦人会総連盟から2曲の仏教讃歌が発表されました。その一つが、大谷範子前裏方さまが作詞された《お名前よべば》です。親鸞さま、親鸞ごま…、



演奏会の来場者を巻き込み《お名前よべば》を大合唱（今年の御正忌報恩講「奉讃演奏会」で）



収録CD：『第14回世界仏教婦人会大会記念ソング』
収録楽譜：『仏教讃歌一歌集』（本願寺出版社刊）

※スマートフォン、タブレットなどで上記QRコードを読み込むと掲載曲を聴くことができます。ご加入のプランなどに注意してご利用ください